

# 教育心理学

## 教育心理学の歴史の大きな流れ

教育心理学は、教育に関連する心理的事象への関心と教育への心理学の応用から始まりました。スイスの教育者ペスタロッチ, J.H. は直感教育を重視し、その影響を受けたヘルバルト, J.H. は心理学を教育の基礎と位置づけ、研究しました。ヘルバルトに影響を受けたヴント, W. によってライプチヒ大学に実験心理学の研究室がつけられました。ヴントのもとで学んだモイマン, E. は、教育の目的と具体化は児童の自然の心性を通してなされるべきであるとするもので、内容は学童の心身発達のことから教授法とその効果や活動にまで及びました。アメリカでは、ヴントの指導を受けたホール, G.S. やキャッテル, J.M. などが教育心理学の端緒を開きました。ホールは、小学校入学時の児童の精神内容を調査し、彼を中心にした児童研究運動の先駆となりました。また、キャッテルは、精神の検査と測定についての論文を発表し、ソーンダイク, E.L. とその一派により、教育測定運動が展開されました。19世紀当時の学力検査方法は、論文体検査や口頭試験であり、その採点が主観的でした。19世紀終わりから20世紀初頭にかけて、ソーンダイクを中心に教育測定運動を展開させ、学力を客観的・科学的測定することが重視され、さまざまな学力検査が作成されました。フランスでは、児童研究に関心があったビネー, A. が20世紀初頭に精神年齢という測定尺度を開発し、知能検査の発端となりました。ドイツのシュルテン, W. やウェルナー, H.、スイスのピアジェ, J. などの研究が、教育心理学の発展に大きく寄与しました。

## キーワード

- 教育測定運動
- 実験法
- 観察法
- 調査法
- 事例研究法

## 教育心理学とは

教育心理学とは、より望ましい人間形成とは何かを目的に理論的側面と実践的側面の両面が探求するものであり、教育心理学で研究される領域は、心身の発達段階から社会心理学、認知や知覚、研究法まで広範囲になります。また、教育者のはたらきかけが児童・生徒に対する望ましい価値の実現に大きく寄与しています。

### 教育心理学と教育現場

教育現場において、一般的な心身の発達段階を知ることは、子どもの目指すべき発達の目標がわかります。そして、その子どもがどの発達段階にいるのかを見極めることによって、教育者のはたらきかけ方をその子どもに合わせる事が可能になってきます。そして、一般的な発達段階から遅れている場合には、その早期発見につながり、早期の支援介入が可能になります。心身の発達段階の特徴を把握しておくことにより、それに合わせた教育やはたらきかけ方を検討でき、どのようなはたらきかけが子どもによって有効かが検討可能になります。特に、学校現場における学級という環境は、児童・生徒への人格形成に影響を与えることに加え、学級内での教員、児童・生徒の人間関係の中での教員の指導方法や教員のはたらきかけは学級内の児童・生徒同士の関係性、集団行動、適応、学習の習得具合などにも影響を与えます。教員が集団の力動や社会心理学の特徴を習得することは学級運営において重要になってきます。また、児童・生徒個人の行動や言動の背景にある心理的な力動について常に敏感になっていることが求められます。障害のある児童・生徒に対してもそれぞれの障害の特性への理解とそれに合った心身発達を促す教育的指導法やはたらきかけを習得することが必要になってきます。教育心理学での研究は、教育者へのより良い教育に関する支援を行える分野でもあります。

### 研究方法

研究方法には主に実験法、観察法、調査法、事例検討法などがあります。

**実験法：**人為的にコントロールされた実験室の中で行動の因果関係を実証しようとする研究方法です。非常に限定的な環境をつくり出すため、生態学的妥当性（日常生活での再現可能性）が低くなる可能性があります。

**観察法：**自然な状況や実験的な状況で人の行動を観察、記録、分析し、行動の特徴や法則性を明らかにする研究法です。生態学的妥当性が高く、言語的発達が未成熟な乳児などの研究でも使用されることが多い研究法です。

**調査法（質問紙法ともいう）：**質問項目に対する回答によりその人の行動傾向、社会への関わり方、人間関係などを研究する方法です。

**事例研究法：**個々の事例を検討します。たとえば、問題を抱える児童に対して多角的な視点からその児童の行動やパターンや家庭環境、学校での友人関係、学習の習得程度などを検討し、その児童への介入の仕方、

関わり方などを吟味し、実践し、解決すれば経過観察し、解決しなければ再度、対応方法を吟味する研究法です。教育現場では、教員、養護教員、スクールカウンセラーなどさまざまな立場から検討し合うことが多いです。

## まとめ

- 教育心理学は、子どものより良い発達や人格形成、学習の習得に役立つための基礎から応用までの理論的な側面と実践的な側面を併せもった分野である。
- 心理援助者は、これらの知識の習熟が求められ、教育現場で教員、児童・生徒、保護者への支援を行える。さらに他職種との連携と良好なコミュニケーション能力が求められる。

### <参考文献>

浜名外喜男編著 2000 教育心理学 樹村房

櫻井茂男監修 / 黒田祐二編集 2012 実践につながる教育心理学 北樹書房